



今月の題字  
ひらさわ だいちくん  
(大浦小2年)

# 町のわだい

## 町老連の囲碁将棋大会 熟年棋士18人が盤上の戦い

町老人クラブ連合会(沼崎廻会長)主催の「町老人囲碁将棋大会」が6月12日、町中央コミュニティセンターで開かれました。今年で17回目を迎える同会には、腕に覚えのある熟年棋士18人(囲碁11人、将棋7人)が参加。盤上を見詰めながらじっくりと相手の先を読んで碁石を打ったり、コマを進めたりするなど、真剣なまなざしで対局に臨んでいました。熱戦の結果、囲碁は鈴木常夫さん(八幡町・71歳)、将棋は昆野壽雄さん(織笠・70歳)がそれぞれ優勝しました。



## 宮古地区 中総体 本町選手の活躍光る 野球は豊中が14年ぶりのV

宮古地区中学校総合体育大会が6月14日から行われ、野球競技で豊間根中学校が14年ぶりの優勝を飾りました。初戦の崎山に4対0で勝った同校は、2回戦で山田中との本町同士の対戦。10回特別ルール8対2で破り、続く準決勝でも田老一中を11回特別ルール2対1で下しました。決勝の相手は強豪の宮古一中。試合はまれに見る投手戦となり、3回に1点を挙げた豊間根中が最終回まで守りきり、14年ぶりの栄冠を手に入れました。また、山田中のソフトテニス男子・女子、柔道男子、サッカー競技が優勝。個人戦では、山田中が5競技8種目で優勝を果たしています。



## 山田町婦人 団体協議会 50周年記念演芸の集い 名演技に会場大いに沸く

6月22日、町婦人団体協議会(昆野昭子会長)の設立50周年記念「婦人演芸の集い」が町中央公民館で開催されました。同協議会設立50周年を祝う同集いには、2回の公演で婦人会員や観衆ら1,300人が詰め掛けました。ステージには17団体155人が次々に登場。自慢の踊りや劇などを披露しました。大浦地区の創作舞踊劇「瞼の母」では、地区の婦人40人が出演。昔の衣装に身を包み、役者顔負けの名演技を随所に見せるなど会場を大いに沸かせていました。



## 「シニアサロン」を開設 高齢者が集う情報交流の場に

5月31日、「やまだシニアネット」(岡澤照夫会長・会員28人)では、情報交流の場「シニアサロン」を町中央公民館に開設しました。高齢者にパソコンを理解してもらおうと開設したもので、この日は会員ら12人が参加。パソコン操作を教え合ったり、インターネットで情報収集したりするなど、参加者同士で交流を深めていました。岡澤会長は「図書館に行って本を読む感覚で気軽に参加してほしい」と話していました。同サロンは毎週土曜日の午後1時半から3時半まで開設。60歳以上の方であればどなたでも参加できます。

## 統一要望で増田知事が来町 町の重点11項目を強く要望

県知事への統一要望が6月5日、柳沢北浜地区土地区画整理地内で行われ、増田寛也知事が来町。沼崎喜一町長から要望事項の説明を受けながら、同地内の県立山田病院建設候補地の視察を行いました。町では、本年度▷小型球形ウイルス(SRSV)対策の確立▷地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」の整備促進▷県立山田病院の診療体制の充実—など、重点11項目を強く要望しました。増田知事は「要望に応えられるよう努めていきたい」と話していました。



## 鯨館で自然観察会 身近な樹木に関心寄せる

6月21日、「自然観察会」が鯨と海の科学館で開かれました。郷土の自然をもっと知ってもらおうと行われたもので、町内外の親子35人が参加。講師の吉崎誠さん(東邦大学教授)の指導の下、同館周辺で採取したイロハカエデやタブノキなど約10種を使い、押し葉作りに取り組みました。その後、家族旅行村樹木園に移動し、講師が樹木一本一本の名前や特徴などを説明。参加者は身近にあるめずらしい樹木に見入るなど、郷土の自然に関心を寄せていました。